2-634-400-**01** (1)

Data Projector

取扱説明書 Air Shot Version 2 編

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 ソフトウェア製品は安全のための注意事項を守らないと、健康を害することがあります。

この取扱説明書には、健康を守るための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品をお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

VPL-CX86
VPL-CX76

安全のために

ソフトウェア製品は、まちがった使いかたをすると、健康を害するおそれがあります。
健康を守るために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

下記の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記されています。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。

行為を禁止する記号

⚠警告

下記の注意を守らないと、健康を害するおそれがあります。

ディスプレイ画面を長時間継続して見ない

ディスプレイなどの画面を長時間継続して見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐにコンピューターの使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは、医師の診断を受けてください。

キーボードを使いすぎない

キーボードやマウスなどを長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。キーボードやマウスなどを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐにコンピューターの使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは、医師の診断を受けてください。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を超えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

・通信内容を盗み見られる
　悪意のある第三者が、電波を故意に傍受し、
　　IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
　　メールの内容
　等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

・不正に侵入される
　悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし
　　個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
　　特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
　　傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
　　コンピュータウィルスなど流しデータやシステムを破壊する（破壊）
　などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

・本機に付属のソフトウェアの使用権については、各ソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約書をご参照ください。
・本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
・本機および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

商標について

・Windows、Microsoftは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
・Intel、Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。
・Air Shot（エアーショット）はソニー株式会社の商標です。
・「UBQ-wLAN」はキャノンアイテック株式会社の商標です。

著作権について

本製品には、キャノンアイテック株式会社によって開発されたプログラム「UBQ-wLAN」が搭載されています。

目次

お使いになる前に

主な特長

本機は Air Shot Version 2（ワイヤレス接続機能）対応のプロジェクターです。ケーブル接続することなくコンピューターの画像をプロジェクターで投影することができます。また、複数のコンピューターの画像を簡単に切り換えて投影することができます。

シンプルモードでの Air Shot Version 2 簡単設定・接続

初めて使用するかたでも簡単に接続ができるようにネットワークやワイヤレスの設定が不要なシンプルモードがあります。シンプルモードを使用すれば、煩わしい設定をすることなく付属のワイヤレス LAN カードをプロジェクターに、付属の USB ワイヤレス LAN モジュールをコンピューターにセットするだけでプロジェクターとコンピューターをワイヤレスで簡単に接続することができます。

USB ワイヤレス LAN モジュールからの簡単インストール

Air Shot Version 2 を使用する際には、あらかじめ使用するコンピューターにアプリケーションソフトウェア Projector Station for Air Shot Version 2 をインストールしておきます。インストールは、付属のメモリー内蔵 USB ワイヤレス LAN モジュールもしくは CD-ROM より画面の指示に従って簡単にインストールすることができます。

スピーディ、高画質転送／表示

スピーディに高画質で画面をプロジェクターから投影できるように画像データを効率的に圧縮し、リアルタイムで画像データ転送を行っています。このため、アニメーション効果などを使ったプレゼンテーションも可能です。
(DVD などの動画再生には適しておりません。)

セキュリティ対応

ワイヤレスで画像データを転送する際データを暗号化（WEP, WPA）することが可能です。シンプルモードでもプロジェクターとコンピューター間の通信は自動的にデータを暗号化（WEP）していますので、セキュリティ効果が高くなっています。

Web ブラウザコントロール

コンピューターの Web ブラウザ経由で、プロジェクターの制御や状態確認が可能です。

LAN への接続

アクセスポイントを経由して LAN に接続しているコンピューターからも、プロジェクターの電源の入 / 切や入力切り換えなどの操作や状況確認が可能です。
また、ランプの交換時期やエラー情報などをあらかじめ設定したアドレスにメールでお知らせするメールレポート機能を持ち、SNMP にも対応しています。さらに、コンピューター上でインターネットを閲覧しながら、その画像

をそのままプロジェクターへ表示することもできます。

マルチ接続

複数台のプロジェクターを設置する場合にも分配器などを使用することなく、1台のコンピューターから最大5台のプロジェクターに同時に画像を投影することが可能です。

レーザーポインター付きプレゼンテーションツール

付属のプレゼンテーションツールから、コンピューター上で動作しているパワーポイントのスライドのページ送り／戻しや、スクリーンを黒くするといった制御が可能です

この取扱説明書では、VPL-CX86とVPL-CX76の2機種について説明しています。図はVPL-CX86を使用していますが、細かい違いについては本文中に説明があります。

バージョンの互換性について

VPL-CX85/75に搭載のAir ShotとVPL-CX86/76に搭載のAir Shot Version 2には互換性がありません。VPL-CX85/75とVPL-CX86/76の両方をお使いになる場合は、以下の2つの方法があります。

・ソフトウェアをバージョンアップしない
VPL-CX85/75をお使いの場合は、Projector Station for Air Shotを起動します。VPL-CX86/76をお使いの場合は、Projector Station for Air Shot Version 2を起動します。シンプルモードをお使いの場合は、それぞれに付属のUSBワイヤレスLANモジュールをお使いください。
・VPL-CX85/75のソフトウェアをバージョンアップする
VPL-CX85/75のソフトウェアをメモリースティックを用いてAir Shot Version 2 Lightにバージョンアップします。バージョンアップソフトウェア及び説明書はVPL-CX86/76に付属のCD-ROM内のAir Shot Version 2 Lightフォルダーに入っていますので、詳細はそちらをご覧ください。

システム動作環境

Projector Station for Air Shot Version 2を動作させるには、次の環境が必要です。

対応コンピューター

CPU：Intel Pentium III 600MHz相当以上
メモリ：64MB以上、推奨128MB以上（Windows XPは128MB以上）
ハードディスク：10MB以上
その他必要な装置：CD-ROMドライブもしくはUSB端子（Aタイプ、USB2.0もしくはUSB1.1ポート）

対応OS

Microsoft Windows 98SE、Microsoft Windows Me、Microsoft Windows 2000、Microsoft Windows XP Home Edition、Microsoft Windows XP Professional

対応解像度

サイズ：VGA（640 × 480）、SVGA（800 × 600）、XGA（1024 × 768）、SXGA（1280 × 1024）

色数：16 bit、24 bit、32 bit

対応ブラウザ

Internet Explorer 5.0 以上

対応ワイヤレス LAN

規格：IEEE802.11b/g

チャンネル：1 ～ 11

アクセス方式：アクセスポイントモード、アドホック（ピアトゥピア）モード

対応セキュリティー

WEP（64bit/128bit）

WPA（TKIP）

WPA-PSK（TKIP）

802.1x 認証 [PEAP (MS-CHAP v2)]

サーバー証明書には対応していません。

ご注意

推奨環境のすべてのコンピューター、OS、ワイヤレス LAN デバイスについて動作を保証するものではありません。

準備する

コンピューターの準備をする

Air Shot Version 2 を利用する際にはあらかじめアプリケーションソフトウェア（Projector Station for Air Shot Version 2）を使用するコンピューターにインストールする必要があります。

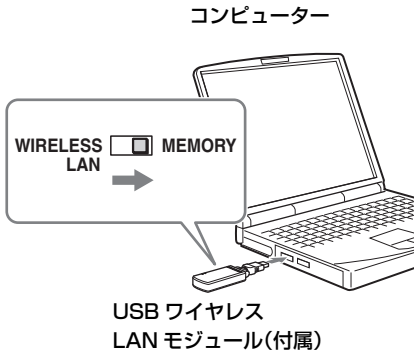
インストール方法には付属の USB ワイヤレス LAN モジュールからインストールする方法と CD-ROM からインストールする方法があります。

ご注意

- Windows 2000 Professional、Windows XP Home Edition ／ Professional をお使いの場合は、管理者用のアカウントでログオンしてください。
- Windows 98SE をお使いの場合、USB ワイヤレス LAN モジュールのドライバを事前にインストールする必要があります。詳しくは、USB ワイヤレス LAN モジュールの取扱説明書をご覧ください。
- USB ワイヤレス LAN モジュールを使いシンプルモードを使用しない場合は、ワイヤレス設定のため、付属の CD-ROM 内の USB ワイヤレス LAN モジュールの取扱説明書をご覧になり、「USB Wireless LAN Module Utility」のインストールとユーティリティの設定を行ってください。（Windows XP をお使いの場合は Windows のワイヤレスネットワーク接続からの設定も可能です。）

USB ワイヤレス LAN モジュールからインストールする

付属の USB ワイヤレス LAN モジュールを使って Projector Station for Air Shot Version 2 をインストールする手順について説明します。

1 **付属の USB ワイヤレス LAN モジュールのスイッチを MEMORY 側にする。**

USB ワイヤレス LAN モジュールは、メモリー内蔵です。メモリーとワイヤレスをスイッチで切り換えます。Projector Station for Air Shot Version 2 をインストールするときは、スイッチを MEMORY 側に、ワイヤレス接続をするときは WIRELESS LAN 側にしてください。

2 **付属の USB ワイヤレス LAN モジュールをコンピューターの USB 端子に接続する。**

アプリケーションソフトウェアのインストール画面が表示されます。

ご注意

・インストール画面が自動的に表示されない場合は、［マイコンピューター］- [USB_CD-ROM] -［Dp_Inst］を選んでください。
・Operating Instructions は参照できません。Operating Instructions は CD-ROM から参照してください。

3 **Projector Station for Air Shot Version2 を選択し、[Install] をクリックする。**

4 **ウィザードの指示に従ってアプリケーションソフトウェアをインストールする。**

5 **「ハードウエアの安全な取り外し」でデバイスを「停止」してから、USB ワイヤレス LAN モジュールを取りはずし、スイッチを WIRELESS LAN 側にしてから、USB 端子に接続する。**

Windows XP SP2 をお使いの場合

途中で以下の画面が表示されたら、［自動で登録する］のチェックボックスにチェックをつけて［次へ］をクリックします。

インストールが終了すると「自動設定終了」が表示されます。

6　このまま投影する場合は、「このまま Air Shot v2 を起動してプロジェクターと接続する」のチェックボックスにチェックを付け［OK］をクリックする。

Air Shot Version 2 が自動的に起動します。

投影しない場合は、このまま［OK］をクリックする。

CD-ROM からインストールする

1　付属のCD-ROMをコンピューターの CD-ROM ドライブに入れる。

アプリケーションソフトウェアのインストール画面が表示されます。

「USB ワイヤレス LAN モジュールからインストールする」（8 ページ）の手順 3 以降に従ってください。

ご注意

インストール画面が自動的に表示されない場合は、［マイコンピューター］-［CD-ROM ドライブ］-［Dp_Inst］を選んでください。

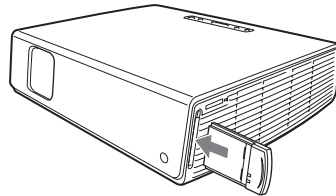
プロジェクターの準備をする

プロジェクターのスロットに、付属のワイヤレス LAN カードをセットします。

ご注意

カードをセットしたり、取り出したりする前に必ずプロジェクターの電源コードをはずしてください。

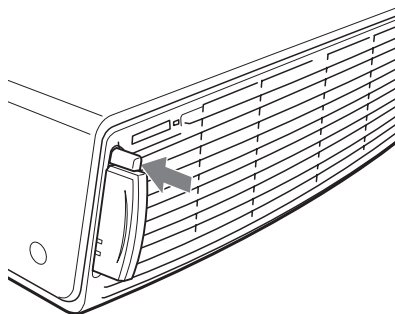
セットのしかた

カードの表側をプロジェクターの前面に向け、「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

ご注意

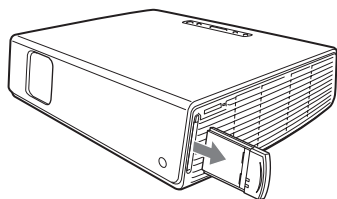
- 必ず付属のワイヤレス LAN カードをお使いください。
- プロジェクターを持ち運ぶときは、必ずカードを抜いてください。

取り出しかた

1 スロット上側のイジェクトボタンを押す。

イジェクトボタンが飛び出します。

2 イジェクトボタンをもう1度押す。

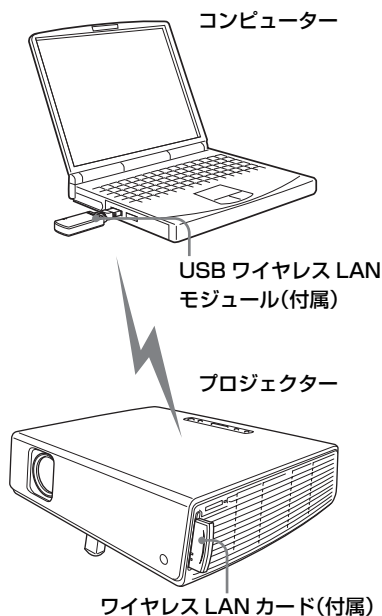
カードが飛び出します。

3 カードを引き抜く。

ご注意

カードを取り出した後イジェクトボタンを押し込んでください。出たままになっていると折れるなど故障の原因となることがあります。

ワイヤレス接続する

シンプルモードで接続する

インストール時の自動設定でシンプルモードに設定したときは、以下の設定をしてコンピューターとプロジェクターを接続します。

プロジェクター側の設定をする

1 プロジェクターのスロットに付属のワイヤレス LAN カードをセットする。

2 プロジェクターの電源を入れる。

3 リモコンの AIR SHOT キーを押す。

Air Shot Version 2 のホーム画面が表示されます。
シンプルモードになっていることを確認してください。

アイコン
ワイヤレス状態のアイコンが表示されます。
未接続［ ］
アドホック［ ］
インフラストラクチャーモード
［ ］,［ ］,［ ］,［ ］
ワイヤレス LAN カードが挿入されていない場合［ ］

シンプルモードになっていない場合

「マニュアルモードで接続する」の「プロジェクター側の設定をする」(16 ページ）の操作 **4**、**5** を参考にして［シンプルモード］にします。

シンプルモードの無線チャンネルを変更する場合

通信状態がよくない場合、無線チャンネルを変えることができます。
本機の初期設定は［11］です。
「マニュアルモードで接続する」の「プロジェクター側の設定をする」(16 ページ）の操作 **4**、**5** を参考にして［ネットワークチャンネル］をほかのチャンネルに設定します。
チャンネルは 1 ～ 11 から選択できます。

ご注意

- コンピューターに USB ワイヤレス LAN モジュールが接続されている場合は、取りはずしてから設定してください。
- 国 / 地域によって使用できないチャンネルがあります。使用する国 / 地域の規制に従ってください。

コンピューター側の設定をし、接続する

1 Projector Station for Air Shot Version 2 を起動する。

起動するとタスクトレイに［ ］が表示されます。
インストール時に［スタートアップに登録する。］が選択されていれば、コンピューターの電源を入れると自動的に起動します。

2 スイッチがWIRELESS LAN側になっていることを確認してから、USB ワイヤレス LAN モジュールをコンピューターの USB 端子に接続する。

ワイヤレス設定が自動的に行われます。

［オプション設定］(24 ページ) で［起動時にプロジェクターに接続する］がチェックされていると、接続可能なプロジェクターが検索され次第、そのプロジェクターからコンピューターの画像が投影されます。

3 ［起動時にプロジェクターに接続する］を選択していない場合は、［プロジェクター］ボタンをクリックして、接続する。

プロジェクターボタン

ご注意

お使いのコンピューターによっては接続するまでに時間がかかる場合があります。

プロジェクターとコンピューターを切断する

メインウィンドウの［プロジェクター］ボタンをクリックし、切断します。
USB ワイヤレス LAN モジュールを取りはずす際には、切断後「ハードウエアの安全な取り外し」でデバイスを「停止」してから取りはずしてください。

接続したいプロジェクターが検索されない場合

接続プロジェクターの変更もしくは追加設定をしてください。設定したプロジェクターはプロジェクター選択リストに表示されます。

変更／追加設定のしかた

1 タスクトレイの［ ］アイコンをクリックし、［開く］を選ぶ。

Projector Station for Air Shot Version 2 のメインウィンドウが開きます。

2 ウィンドウの［ ］ボタンをクリックし［オプション設定］ダイアログボックスを開く。

［オプション設定］はプロジェクターと接続していない場合のみ開くことができます。

◆［オプション設定］ダイアログボックスの詳細については「［オプション設定］画面の使いかた」(23 ページ) をご覧ください。

3 ［シンプルモード設定］タブをクリックする。

プロジェクター名とシリアル番号が書かれたダイアログボックスが表示されます。

4 リストの中に使用したいプロジェクターがあればそのプロジェクターをクリックし、［選択］ボタンをクリックする。
無い場合は［追加］ボタンをクリックし、シリアル番号（7 桁）を入力してリストに追加する。

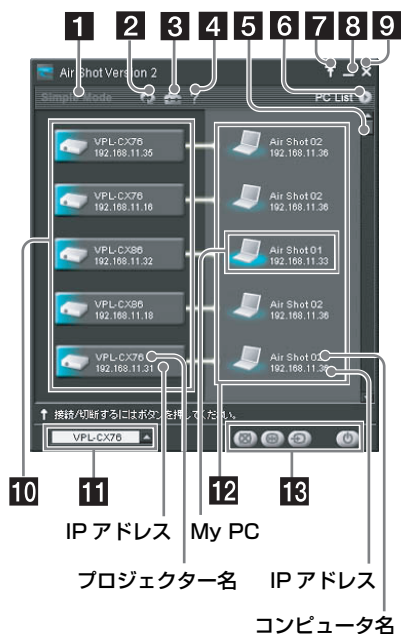
プロジェクターがリストに追加されます。

ご注意

・追加設定をしても、プロジェクターが 1 度接続されるまでプロジェクター名は不明と表示されます。
・シリアル番号は Air Shot Version 2 のホーム画面左下部に表示されます。
・プロジェクターは最大 20 台まで登録できます。
・ノート型のコンピューターなどで Projector Station for Air Shot Version 2 を起動しているときは、外部モニターへ信号を出力することができなくなることがあります。

メインウインドウの各部の名称と働き

1 台のプロジェクターが接続されている場合

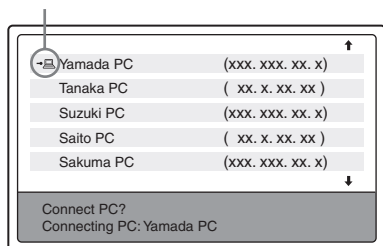
複数台のプロジェクターが接続されている場合

項目	機能
1 ［シンプルモード］表示	Air Shot Version 2 をシンプルモードで使用しているとき［シンプルモード］がハイライト表示されます。

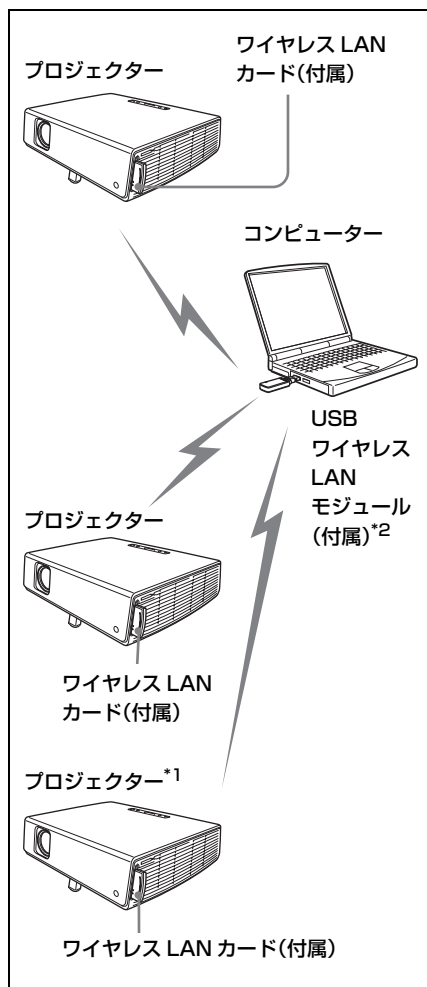
項目	機能
2 [更新] ボタン	プロジェクター一覧、接続中のコンピューター、接続可能コンピューター一覧を更新します。
3 [オプション設定] ボタン	Air Shot Version 2 の設定画面を開きます。 プロジェクターと接続していないときに設定画面が表示できます。
4 [ヘルプ] ボタン	Air Shot Version 2 ヘルプトピックスを表示します。
5 スクロールバー	プロジェクターが 6 台以上存在する場合表示されます。
6 [PC List] ボタン	を押すと、接続可能なコンピューターの一覧が表示されます。を押すと表示が消えます。
7 [ツール バー切換え] ボタン	を押すとプロジェクターコントロール用のツールバーのみが表示され、ボタンを押すと画面全体が表示されます。
8 [最小化] ボタン	Air Shot Version 2 メインウィンドウを最小化します。
9 [閉じる] ボタン	Air Shot Version 2 メインウィンドウを閉じます。
10 [プロジェクター] ボタン	接続可能なプロジェクターのアイコン、プロジェクター名（プロジェクターにニックネームが設定されている場合はニックネーム）、IP アドレスがボタンに表示されます。プロジェクターと接続または切断をするときクリックします。 またボタン上で右クリックし［プロジェクター Web 表示］を選択すると、設定／操作用の Web 画面を開くことができます。
11 コントロールプロジェクター選択メニュー	プロジェクターボタンで操作するプロジェクターを選択します。プロジェクターが 1 台のときは表示されません。
12 接続中のコンピューター表示	プロジェクターに接続されているコンピューターのアイコン、コンピューター名、コンピューターの IP アドレスが表示されます。 コンピューター名は［オプション設定］画面で変更できます。プロジェクターに接続されているコンピューターがない場合は表示されません。
13 プロジェクターコントロールボタン	コントロールプロジェクター選択メニューで選択されたプロジェクターの操作をすることができます。 プロジェクターが一台の場合は、そのプロジェクターの操作になります。 ［消画］ボタン 画面を一時的に消したいときクリックします。もう一度クリックすると、元に戻ります。 ［フリーズ］ボタン 画面を停止させたいときクリックします。もう一度クリックすると、元に戻ります。 ［入力切換え］ボタン 入力を切り換えたいときクリックします。 ［電源オン／スタンバイ］ボタン プロジェクターの電源を入れたり、スタンバイにしたいときにクリックします。

プロジェクター側から接続、切断、切り換える

1 リモコンの Air Shot キーを押す。

コンピューターの一覧が表示されます。

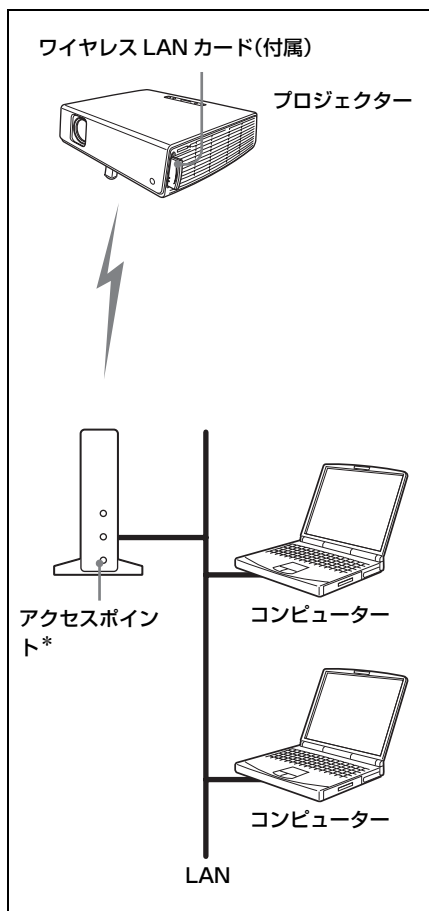
2 リモコンの↑または↓キーを押してコンピューターを選択し、ENTER を押す。

マニュアルモードで接続する

複数台のプロジェクターに同時に接続する場合

*1 同時に接続できるプロジェクターは最大 5 台です。

ご注意

ご使用のコンピューターによっては、5 台同時に接続できなくなる場合があります。

*2 付属の USB ワイヤレス LAN モジュール以外のワイヤレス LAN デバイスも使用できます（IEEE802.11b/g 準拠品）。

アクセスポイントを使用してワイヤレス LAN に接続する場合

* 使用できるアクセスポイントは IEEE802.11b/g 準拠品です。

ご注意

LAN に接続するときはネットワーク管理者へご相談ください。

プロジェクター側の設定をする

1 プロジェクターのスロットに付属のワイヤレス LAN カードをセットする。

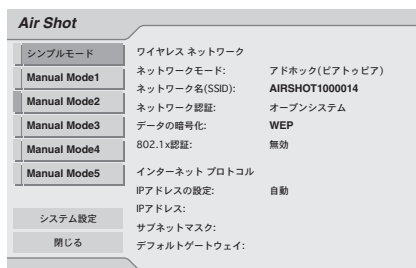
詳しくは 9 ページをご覧ください。

2 プロジェクターの電源を入れる。

3 リモコンの AIR SHOT キーを押す。

Air Shot Version 2 のホーム画面が表示されます。

4 ENTER キーを押す。

設定メニュー画面が表示されます。

5 使用する［マニュアルモード］から［設定変更］を選択し、ネットワーク設定の各項目を設定する。

プロジェクターの設定項目

Air Shot Version 2のホーム画面でEnterキーを押すと、設定メニュー画面が表示されます。この画面で使用するモードを切り換えたり、設定を変更することができます。

ソフトウエアキーボードの使いかた

文字/数字入力時にソフトウエアキーボードが表示されます。

1 **↓/↑/→/← で文字を選択し、Enterキーを押す。**

選択した文字が表示欄の文字カーソルの位置に表示されます。

2 **手順1を繰り返し、入力する。**

3 **入力が終了したら、↓/↑/→/← で［OK］を選び、Enterキーを押す。**

入力した文字が確定され、ソフトウェアキーボードが閉じます。

文字カーソルの一つ前の文字を削除するには

↓/↑/→/← で［削除］を選び、Enterキーを押す。

入力を最初からやり直すには

↓/↑/→/← で［クリア］を選び、Enterキーを押す。

入力した文字がすべて削除されます。

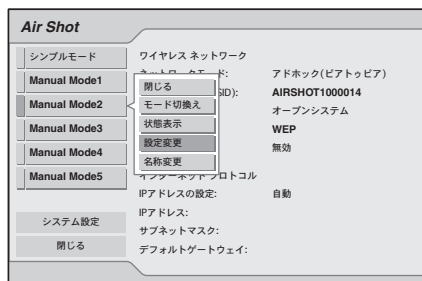
スペースを入力するには

↓/↑/→/← で［スペース］を選び、Enterキーを押す。

各モードを設定する

設定メニュー画面では、現在使用されているモードの左端が水色で表示されます。使用するモードの切り換え、各モードの名称や設定の変更ができます。

■設定項目メニュー（アクションメニュー）を表示する

選択されている項目が、黄色でハイライト表示されます。上下キーで移動します。右側には現在の設定が表示されます。Enter キーを押すと、設定項目メニュー（アクションメニュー）が表示されます。

項目	機能
閉じる	アクションメニューを閉じます。
モード切換え	選択したモードが有効になります。
状態表示　（使用中のモードのみ）	現在使用されているモードの状態が表示されます。
設定変更	設定を変更する画面が表示されます。
名称変更（マニュアルモードのみ）	モード名を変更します。 半角英数字で最大 16 文字まで入力できます。

■状態を表示する

アクションメニューから［状態表示］を選ぶと、使用されているモードの状態が表示されます。表示したい項目を選び、Enter キーを押すと、設定内容が右に表示されます。

項目	内容
インターネット プロトコル	IP アドレスの設定（自動／手動)、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、優先／代替 DNS サーバー、DHCP サーバー、リース開始／終了時間を表示します。
ワイヤレス ネットワーク	ネットワークモード、ネットワーク名（SSID)、チャンネル、現在の受信レベル（1 ～ 100%）を表示します。
接続ログ	接続ログを表示します。
カード情報	使用しているワイヤレス LAN カードの製造元、カード名、無線規格（802.11b、802.11b/g)、MAC アドレス、WPA サポート情報を表示します。
閉じる	状態表示画面を閉じます。

■設定を変更する

アクションメニューで［設定変更］を選ぶと、選択したモードのインターネットプロトコル、ワイヤレスネットワーク、802.1x 認証を変更する画面に切り換わります。設定したい項目を選び、Enter キー、または右キーを押すと、それぞれの設定項目に移動します。変更したい項目を入力するには、Enter キー、または右キーを押します。設定終了後は左キーで項目画面に戻ります。［OK］を選択すると、設定内容が保存され設定メニュー画面に戻ります。［キャンセル］を選択すると、保存されずに設定メニュー画面に戻ります。

*：シンプルモードでは設定できません。

項目		機能
インターネット プロトコル *		IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーなどのインターネットプロトコル設定を行います。
	IP アドレスの設定	［自動（DHCP）］、［手動］を選択できます。［手動］を選択したときはこの画面の［IP アドレス］、［サブネットマスク］、［デフォルトゲートウェイ］を設定してください。
	IP アドレス	プロジェクターの IP アドレスを設定してください。（1.0.0.0 ～ 223.255.255.255）
	サブネットマスク	プロジェクターのサブネットマスクを設定してください。（0.0.0.0 ～ 255.255.255.255）
	デフォルトゲートウェイ	プロジェクターのデフォルトゲートウェイを設定してください。（1.0.0.0 ～ 223.255.255.255）
	DNS サーバー 1	優先して使用する DNS サーバーを設定してください。（1.0.0.0 ～ 223.255.255.255）
	DNS サーバー 2	代替の DNS サーバーを設定してください。（1.0.0.0 ～ 223.255.255.255）
ワイヤレスネットワーク		ネットワークモード、ネットワーク名、認証、データの暗号化、キー、チャンネルを設定します。
	ネットワークモード *	［アドホック（ピアトゥピア）］または［ワイヤレスアクセスポイント］から選択できます。 ・アドホック（ピアトゥピア）：アクセスポイントを使用しない場合 ・ワイヤレスアクセスポイント：アクセスポイントを使用して LAN に接続する場合
	ネットワーク名（SSID）*	ネットワーク名を入力します。接続するコンピューターまたはアクセスポイントと同じ文字を入力してください。半角英数字で最大 32 文字まで入力できます。
	ネットワーク認証 *	ネットワーク認証方式を、［オープンシステム］、［共有キー］、［WPA］、［WPA-PSK］から選択できます。
	データの暗号化 *	暗号化通信の方法を［WEP］または［TKIP］から選択します。暗号化を行わない場合は、［無効］を選択します。

項目		機能
	キー *	データの暗号化で WEP を使う場合、キーを入力します。接続するコンピューターまたはアクセスポイントと同じキーを入力してください。 入力文字数 ・［64（40）ビット ASCII］の場合：半角英数字および半角記号で 5 文字 ・［128（104）ビット ASCII］の場合：半角英数字および半角記号で 13 文字 ・［64（40）ビット HEX］の場合：0 ～ 9、a ～ f の組み合わせで 10 文字 ・［128（104）ビット HEX］の場合：0 ～ 9、a ～ f の組み合わせで 26 文字 **ご注意** ［64（40）ビット ASCII］、［128（104）ビット ASCII］の場合、英字の大文字と小文字が判別されます。 ネットワーク認証で WPA-PSK を使う場合、キーを入力します。接続するアクセスポイントと同じキーを入力してください。 入力文字数 ［ASCII］入力の場合：半角英数字および半角記号で 8 ～ 63 文字 ［HEX］入力の場合：0 ～ 9、a ～ f の組み合わせで 64 桁
	チャンネル	［ネットワークモード］を［アドホック（ピアトゥピア）］に設定した場合 1 ～ 11 から選択できます。 ［ネットワークモード］を［ワイヤレスアクセスポイント］に設定した場合［自動］に設定されます。 **ご注意** コンピューターに USB ワイヤレス LAN モジュールが接続されている場合は、取りはずしてから設定してください。使用する国 / 地域によっては使用できないチャンネルがあります。

項目		機能
802.1x 認証 *		802.1x 認証の有効／無効、ユーザー名やパスワードを設定します。
	802.1x1 認証	802.1x 認証の機能を［有効］または［無効］にするかを設定します。
	EAP の種類	802.1x 認証の認証方式は、[PEAP (MS-CHAP v2)] 固定です。
	ユーザー名	認証用のユーザー名を入力します。入力文字数は、半角英数字および半角記号で最大 64 文字です
	パスワード	認証用のパスワードを入力します。入力文字数は、半角英数字および半角記号で最大 64 文字です

システム設定をする

設定メニュー画面から［システム設定］を選ぶと、［システム設定］画面が表示されます。設定を変更したい項目を選び、Enter キー、または右キーを押すとそれぞれの項目の設定画面が表示されます。変更したい項目を入力するには Enter キー、または右キーを押します。設定終了後は左キーで項目画面に戻ります。
［OK］を選択すると、設定内容が保存され設定メニュー画面に戻ります。
［キャンセル］を選択すると、保存されずに設定メニュー画面に戻ります。

項目		機能
Air Shot		プロジェクターのニックネーム、グループ名、パスワードを入力します。
	ニックネーム	プロジェクターのニックネームを、最大で 24 文字（半角英数字記号）で入力します。
	グループ名 *	プロジェクターへ接続できるグループ名を、8 文字（半角英数字記号）で入力します。
	パスワード *	プロジェクターに接続するためのパスワードを 32 文字（半角英数字記号）で入力します。 **ご注意** パスワード入力の際には、確認のため再入力が必要です。
Information		Air Shot の各機能のバージョンを表示します。
	Air Shot バージョン	バージョン表示のみ
	System バージョン	バージョン表示のみ

コンピューター側の設定をする

ご注意

1 タスクトレイの［ ］アイコンをクリックし、［開く］を選ぶ。

Projector Station for Air Shot Version 2 のメインウィンドウが開きます。

2 ウィンドウの［ ］ボタンをクリックし［オプション設定］－［基本設定シート］を開く。

3 マニュアルモードで使用するLAN モジュールを選択する。

付属の USB ワイヤレス LAN モジュールを使用する場合は、［USB ワイヤレス LAN モジュールをシンプルモードで使用する］のチェックをはずし、USB ワイヤレス LAN モジュールの取扱説明書に従って、ワイヤレスの設定をしてください。ほかのモジュールを使用する場合は、ワイヤレスの設定をプロジェクターと接続できるように設定してください。

プロジェクターとコンピューターを接続／切断する

「コンピューター側の設定をし、接続する」（11 ページ）をご覧ください。

［オプション設定］画面の使いかた

Projector Station for Air Shot Version 2 の各種設定をすることができます。

Projector Station for Air Shot Version 2 の設定画面を開く

Projector Station for Air Shot Version 2 のメインウィンドウで［ ］ボタンをクリックする。

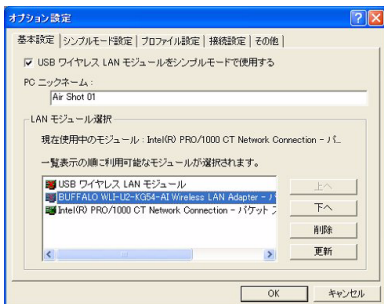
［オプション設定］ダイアログボックスが表示されます。

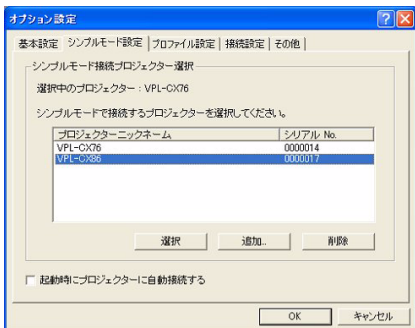
ご注意

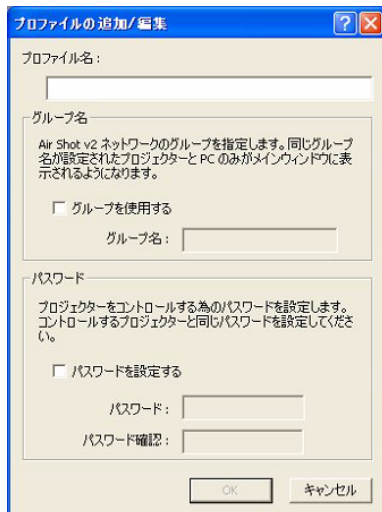
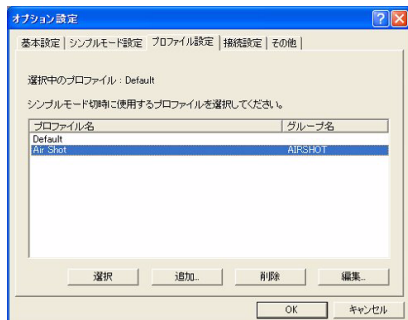
［オプション設定］はプロジェクターと接続していない場合のみ開くことができます。

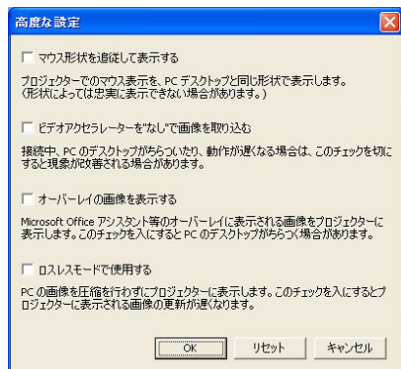
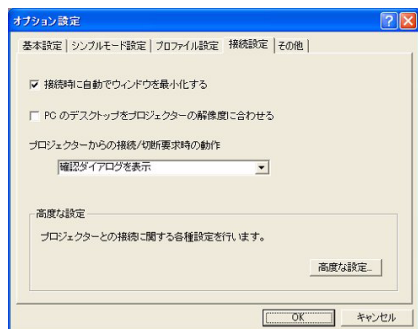
[オプション設定] 画面のタブ名称と働き

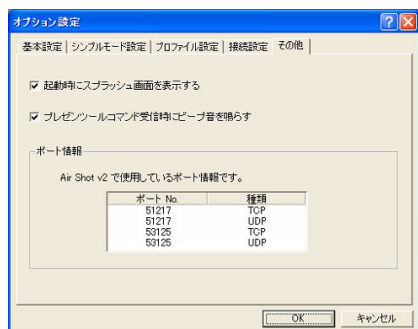
詳細は、メインウィンドウの［ ? ］ボタンをクリックして、オンラインヘルプを表示し、参照してください。

基本設定タブ

基本的な設定を行います。

シンプルモード設定タブ

シンプルモードで使用する際の設定を行います。

プロファイル設定タブ

マニュアルモードでプロジェクターと接続する際のプロファイルを設定します。

接続設定タブ

プロジェクターと接続する際の詳細な設定を行います。

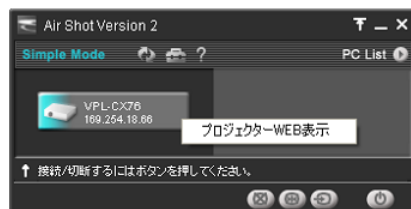
その他タブ

その他の設定を行います。

Web 経由で設定・操作する

コンピューターからプロジェクターの情報を見たり、プロジェクターを遠隔操作したりすることができます。お使いになる機器の接続を確認し、電源を入れてください。

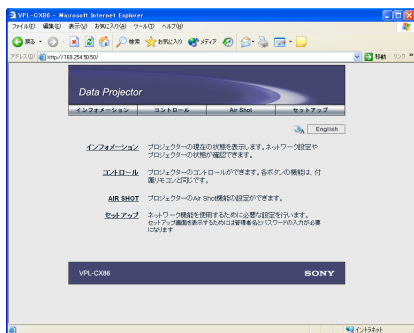
コンピューターからアクセスする

プロジェクターの Web ページには下記のどちらかの方法でアクセスすることができます。

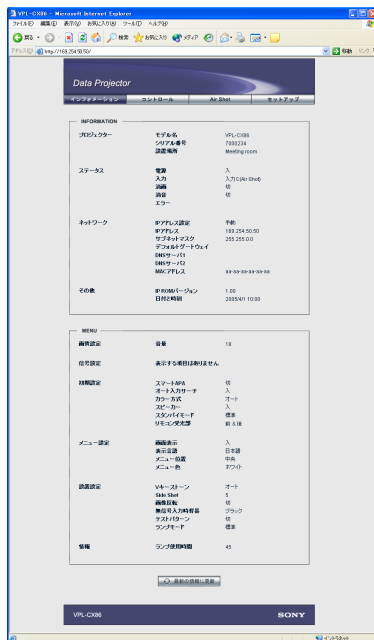
Projector Station for Air Shot Version 2 のメインウィンドウでアクセスしたいプロジェクターボタンを右クリックし、表示された［プロジェクター WEB 表示］をクリックして、アクセスする。

コンピューターのブラウザ（Internet Explorer 5.0 以上）を起動し、アドレスに［http://xxx.xxx.xxx.xxx（プロジェクターの IP アドレス)］と入力し、アクセスする。

ご注意

コンピューターからプロジェクターにアクセスする際、ブラウザの設定が［プロキシサーバーを使用する］になっている場合は、プロジェクターの IP アドレスを［プロキシサーバーを使用しない］に設定してください。

アクセスすると次のようなインデックス画面が立ち上がります。

プロジェクターの状態を確認する（インフォメーション）

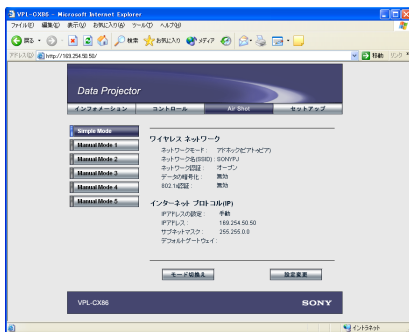
［インフォメーション］をクリックします。

プロジェクターの現在の状態をコンピューター上で確認できます。この画面は確認のみで、設定の変更はできません。

プロジェクターをコンピューターで操作する（コントロール）

［コントロール］をクリックします。
コンピューターの画面上でプロジェクターを操作できます。各ボタンの働きは、本機に付属のリモコンの同名ボタンと同じになります。

（VPL-CX86 の場合）

接続モードを設定する

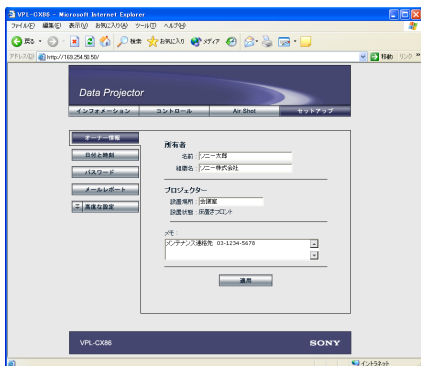
［Air Shot］をクリックします。モード切換えと各モードの設定ができます。

モードを切り換えるには、モードボタンをクリックし、［モード切換え］をクリックします。

各モードの設定を変更するには、変更したいモードボタンを選び、［設定変更］をクリックします。設定を変更し、［適用］ボタンをクリックすると、プロジェクターに反映されます。

設定する

「セットアップ」をクリックします。
セットアップメニュー画面が表示されます。
所有者情報や日時、パスワード、メールレポートの設定ができます。各画面で入力した情報、変更した設定などは、各画面下方の「適用」をクリックするとプロジェクターに反映されます。

オーナー情報

ここで設定された情報はメールレポート機能で使用されます。

所有者

所有者の情報を入力します。

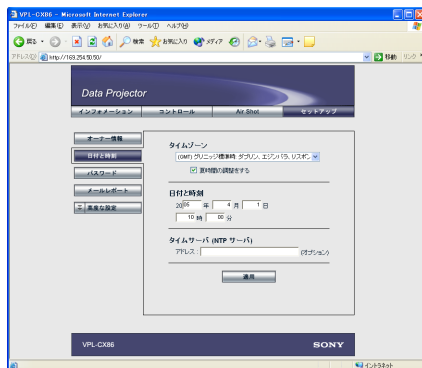
プロジェクター

プロジェクターの設置場所、使用しているレンズタイプを入力します。

メモ

メモを入力しておくことができます。

日付と時刻

日時の設定は、メールの自動送信の際に必要です。

タイムゾーン

お住まいの地域を選びます。

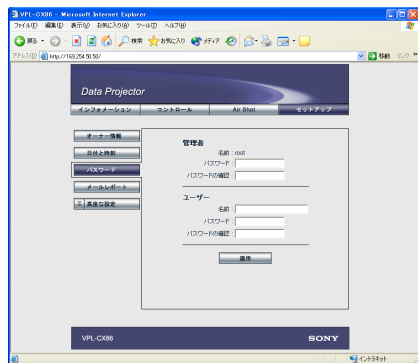
日付と時刻

年月日および時刻を入力します。

タイムサーバー

正確な時刻情報を自動取得するためのタイムサーバーのアドレスを入力します。

パスワード

管理者、ユーザーそれぞれに名前とパスワードを設定できます。管理者の名前は「root」に固定されています。

ご注意

・パスワードを変更する場合は、設定されているパスワード（*****）を削除してから、新しいパスワードを入力してください。

・パスワードを忘れた時は、テクニカルインフォメーションセンターへお問い合わせください。

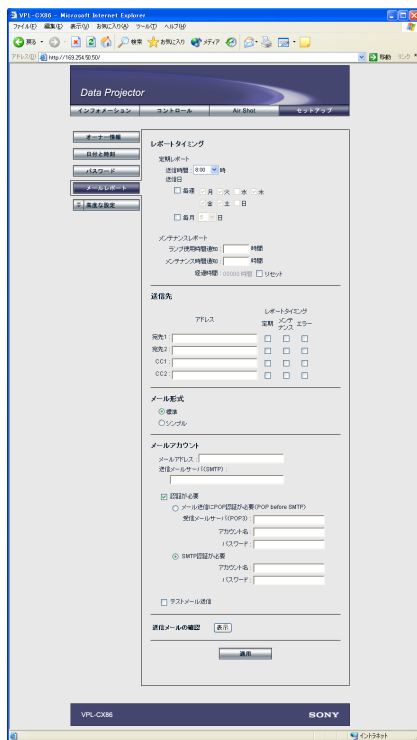
メールレポート

メールレポート機能を使って、次のことができます。

・プロジェクターの設置状況やユーザー情報を定期的に通知します。送信日も指定できます（定期レポート）。

・プロジェクターにエラーが発生した場合、直ちにメールで通知します（エラー通知）。

・ランプの使用時間があらかじめ指定しておいた時間に到達した場合、ランプの交換時期がきたことをメールで通知します（ランプ使用時間通知）。

・プロジェクターの使用時間があらかじめ指定しておいた時間に到達した場合、メンテナンス時期がきたことをメールで通知します（メンテナンス時間通知）。

■レポートタイミング

定期レポート

プロジェクターの現在の状態や設置状態などのレポートが定期的に発行され、メールで送信されます。

下記で送信するタイミングを設定します。

送信時間：レポートを発行する時間を指定します。1時間単位で設定できます。

毎週：このチェックボックスをチェックすると、毎週、指定した曜日にレポートが発行されます。

月／火／水／木／金／土／日：レポートを発行する曜日を指定します。複数の曜日を指定することもできます。

毎月：このチェックボックスをチェックし、ドロップダウンリストから日を選ぶと、毎月決まった日にレポートが発行されます。レポートする内容は、製品情報、ユーザー情報、使用時間、ランプモード、メモなどです。

メンテナンスレポート

ランプ使用時間通知：このチェックボックスをチェックし、テキストボックスにランプ交換時期の時間を設定しておくと、この時間が経過したとき、ランプ交換時期がきたことを知らせるメールを送信します。設定できる範囲は1 ～ 9999 時間です。

メンテナンス時間通知：このチェックボックスをチェックし、テキストボックスにメンテナンスの時間を設定しておくと、この時間が経過したとき、メンテナンスの時期がきたことを知らせるメールを送信します。設定できる範囲は1 ～ 99999 時間です。

経過時間」に前回リセットしたときからの経過時間が表示されます。「リセット」のチェックボックスをチェックし、「適用」をクリックすると、経過時間が0にリセットされます。

■送信先

アドレス

各テキストボックスに送信先のメールアドレスを入力します。同時に4箇所に送信できます。各アドレスの最大入力文字数は64 文字です。

レポートタイミング

定期：定期レポートを送信したいときにチェックします。

メンテナンス：ランプ使用時間、メンテナンス時間を通知したいときはチェックします。

エラー：エラーが発生したときに通知したいときはチェックします。

ご注意

- レポートタイミングで、送信日を指定しても「定期」のチェックボックスがチェックされていないとレポートは発行されません。また、「毎月」の指定日が存在しない月の場合は、月末にレポートを発行します。
- レポートタイミングで、「毎週」または「毎月」のチェックボックスがチェックされていない場合、曜日または日の指定はできません。

■メール形式

メール形式を「標準」と「シンプル」から選びます。

■メールアカウント

メールアドレス：割り当てられたメールアドレスを入力します。最大入力文字数は64 文字です。

送信メールサーバー（SMTP）：メールサーバーのアドレスを設定します。最大入力文字数は 64 文字です。

認証が必要：メール送信に認証が必要な場合は、チェックボックスをチェックしてください。

メール送信に POP 認証が必要（POP before SMTP）：SMTP サーバーに接続する前に POP 認証を行う必要がある場合、チェックボックスをチェックしてください。

受信メールサーバー（POP3）：メール受信に使用する POP3 サーバーのアドレスを入力します。

アカウント名：メールアカウントを入力します。

パスワード：メールパスワードを入力します。

SMTP 認証が必要：メール送信時に SMTP 認証が必要な場合には、チェックボックスをチェックしてください。

アカウント名：メールアカウントを入力します。

パスワード：メールパスワードを入力します。

テストメール送信：指定したアドレスにメールが送信されるかどうか、テストメールを送信することができます。チェックボックスをチェックして「適用」をクリックすると送信されます。

ご注意

テストメールは、以下の項目が設定されていない場合、または設定が正しくないと、エラーメッセージが表示され、送信できません。

・送信先のアドレス
・メールアカウントのメールアドレスと送信メールサーバー（SMTP）

メールの設定方法について詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

送信メールの確認

送信されるメールの内容を確認します。

高度な設定

「高度な設定」をクリックすると「Advertisement」、「PJ Talk」、「SNMP」のボタンが表示されます。各設定項目は主に管理用のものです。詳しくは、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

ご注意

文字列が入力できるボックスに「'」「"」「¥」「&」「<」「>」の 6 文字は使用できません。

その他

故障かな？と思ったら

<table>
<tr><th>症状</th><th>原因と対処</th></tr>
<tr><td>PC リストにコンピューターが表示されない。（プロジェクター）</td><td>
・コンピューターに Projector Station for Air Shot Version 2 がインストールされていない、もしくは起動されていない。
➔インストールしてください。
➔Projector Station for Air Shot Version 2 を起動してください。
・付属のワイヤレス LAN カードがプロジェクターに取り付けられていない、または付属のカード以外が取り付けられている。
➔付属のワイヤレス LAN カードを取り付けてください。
・電波の状態が極端に悪い。（プロジェクターとコンピューターの距離が離れていたり、間にコンクリートの壁や鉄の仕切り／ドアなどの障害物がある。）
➔プロジェクターとコンピューターを近づけたり、障害物を避けて見通しをよくしてください。
・USB ワイヤレス LAN モジュールを使用してプロジェクターと接続しているとき USB ワイヤレス LAN モジュールをはずした。
➔Windowsを再起動してProjector Station for Air Shot Version 2 を起動し接続を行ってください。

ご注意
USB ワイヤレス LAN モジュールをはずす場合は、プロジェクターと切断してから行ってください。

シンプルモード時
・プロジェクターもしくは、コンピューター（Projector Station for Air Shot Version 2）の設定がシンプルモードになっていない。
➔シンプルモードに設定してください。
・コンピューターの［接続プロジェクター］が接続したいプロジェクターに設定されていない。
➔コンピューターの［接続プロジェクター変更］で接続したいプロジェクターを追加もしくは選択してください。
</td></tr>
</table>

症状	原因と対処
	マニュアルモード時 ・プロジェクターもしくはコンピューターのワイヤレス、ネットワークが正しく設定されていない。 ➔ネットワークチの設定が接続先の機器と合っているか確認してください。
Projector Station for Air Shot Version 2のメインウィンドウで接続状態なのにプロジェクターに画像が表示されない。	・プロジェクターの映像が消画（ミューティング）されている。 ➔リモコンのPIC MUTINGキーを押してミューティングを解除してください。 ・入力C（VPL-CX86）、または入力B（VPL-CX76）になっていない。 ➔リモコンでAIR SHOTキーを押すか、INPUTボタンで入力C（VPL-CX86）、または入力B（VPL-CX76）を選んでください。 ・入力C（VPL-CX86）、または入力B（VPL-CX76）選択が［Memory Stick］になっている。 ➔リモコンでAIR SHOTキーを押してください。
プロジェクターに表示される画像がコンピューターの画像と違っている。	・アプリケーションやスクリーンセーバーによっては正しく画像を転送できない場合があります。 － DirectXを使用したアプリケーション － 動画を再生するアプリケーション － Microsoft Officeのアシスタント － Microsoft IMEツールバー － マウスオーバーで表示されるツールチップ ・コンピューターの［オプション設定］、［接続設定］で［PCデスクトップをプロジェクターの解像度に合わせる］のチェックをはずし、コンピューターの画面をXGAより高い解像度で表示している。 ➔XGAより高い解像度ではプロジェクターに表示される画像が劣化します。
1台のコンピューターから同時に複数台のプロジェクターに接続できない。	・シンプルモードになっている。 ➔プロジェクター、コンピューターをマニュアルモードに設定し、ネットワーク、ワイヤレスの設定を行ってください。 **ご注意** 推奨動作環境のコンピューター、OS、ワイヤレスLANデバイスであっても、複数台のプロジェクターに接続できない場合があります。

症状	原因と対処
プロジェクターのWebページにアクセスできない。	・Projector Station for Air Shot Version 2のメインウィンドウにプロジェクターが表示されない。 ➔「メインウィンドウにプロジェクターが表示されない。」を参照してください。 ・ブラウザの設定が［プロキシサーバーを使用する］になっている。 ➔プロジェクターのIPアドレスを［プロキシサーバーを使用しない］に設定してください。 ・使用しているブラウザのバージョンが古い。 ➔Internet Explorer 5.0以上のブラウザを使用してください。
プロジェクターに表示されるマウス形状がコンピューターと違っている。	・コンピュータの［オプション設定］、［接続設定］、［高度な設定］で、［マウス形状を追従して表示する］にチェックが付いていない。 ➔［マウス形状を追従して表示する］にチェックをつけてください。 **ご注意** プロジェクターに表示されるマウス形状は白黒表示となります。
プロジェクターに接続するとマウス動作が遅くなる。	・コンピューターを管理者用アカウント以外でログインして使用している。（Windows XP ／ 2000のみ） ➔アドミニストレータ権限以外で使用すると、マウスの動作が遅くなる場合があります。 ・コンピューターの［オプション設定］、［接続設定］、［高度な設定］で、［ビデオアクセラレーターを”なし”で画像を取り込む］にチェックがついていない。 ➔-［ビデオアクセラレーターを”なし”で画像を取り込む］のチェックをつけてください。 ➔推奨動作環境のコンピューター、OS、ワイヤレスLANデバイスであっても、マウスの動作が遅くなる場合があります。

画面表示メッセージについて

PC: コンピューター上に表示されるメッセージ
PJ: プロジェクター上に表示されるメッセージ

メッセージ	PC	PJ	原因と対処
LAN モジュールを検索中です。	○		・［オプション設定］で設定された LAN モジュールの優先順位に基づいて PC 内の使用できる LAN モジュールを検索している。 ➔このメッセージが表示され続ける場合は、［オプション設定］、［基本設定］で Air Shot Version 2 で使用する LAN モジュールを確認し再設定してください。
IP アドレスが設定されるまで待機します。	○		・使用する LAN モジュールに IP アドレスが設定されるまで待機している。 ➔このメッセージが表示され続ける場合は、使用する LAN モジュールのワイヤレス、ネットワーク設定を確認してください。IP アドレスが自動（DHCP）に設定されていると IP アドレスの設定に数分かかる場合があります。
接続可能なプロジェクターが存在しません。	○		・接続しようとしているプロジェクターのシリアル No. と異なったシリアル No. のプロジェクターが選択されている。（シンプルモード時） ➔プロジェクターのシリアル No. を確認し、［オプション設定］［シンプルモード設定］で接続したいプロジェクターを変更してください。 ・接続しようとしているプロジェクターと PC のワイヤレスネットワーク設定が異なっている。（マニュアルモード時） ➔プロジェクターと PC のワイヤレスネットワーク設定を確認し再設定してください。 ・電波状態が極端に悪い。 ➔プロジェクターとコンピューターを近づけたり、障害物を避けて見通しをよくしてください

メッセージ	PC	PJ	原因と対処
シンプルモード設定ができません。	○		・シンプルモード設定が正常に終了しなかった。 ➔［クローズ］ボタンを押してメインウィンドウを閉じた後、メインウィンドウを開いて再度シンプルモード設定を行ってください。 ➔USB ワイヤレス LAN モジュールを抜き差しして、再度シンプルモード設定を行ってください。 ➔Windows を再起動した後、再度シンプルモード設定を行ってください。 ・USB ワイヤレス LAN モジュールの Windows IP アドレス設定が［自動（DHCP）］になっていない。（Windows 98SE/Me シンプルモード入時のみ）） ➔Windows の USB ワイヤレス LAN モジュール、IP アドレス設定を［自動（DHCP）］に設定してください。
シンプルモード接続プロジェクターが登録されていません。	○		・シンプルモードで接続するプロジェクターが登録されていない。 ➔［オプション設定］、［シンプルモード設定］で［追加］ボタンを押して、接続したいプロジェクターのシリアル No. を入力しプロジェクターを登録してください。
ネットワーク通信ができません。	○		・使用している PC で正常なネットワーク通信が行えない。 ➔Windows を再起動し、Air Shot Version 2 を立ち上げてください。 ➔Air Shot Version 2で使用するLANモジュールの設定を確認してください。
プロジェクターと通信中にエラーが発生しました。	○		・電波状態が極端に悪い。 ➔プロジェクターとコンピューターを近づけたり、障害物を避けて見通しをよくしてください。
プロジェクターで設定されているパスワードが一致しません。	○		・プロジェクターに設定されているパスワードと PC に設定されているパスワードが違う。 ➔PC のパスワードを［オプション設定］［プロファイル設定］でプロジェクターと同じパスワードに設定してください。

メッセージ	PC	PJ	原因と対処
プロジェクターがビジー状態です。	○		・接続・切断しようとしているプロジェクターがすでに接続・切断処理をおこなっている。 ➔プロジェクターの処理が終了してから再度接続・切断を行ってください。 ・接続・切断しようとしているプロジェクターの［設定画面］が開いている。 ➔［設定画面］を閉じてから再度接続・切断を行ってください。
接続 / 切断しようとしている PC がビジー状態です。	○		・接続・切断しようとしている PC がすでに接続・切断処理を行っている。 ➔PC の処理が終了してから再度接続・切断を行ってください。 ・接続・切断しようとしている PC が［オプション設定］を開いている。 ➔［オプション設定］を閉じてから再度接続・切断を行ってください。
接続 / 切断要求が拒否されました。	○		・接続・切断しようとしている PC の［オプション設定］［接続設定］［プロジェクターからの接続 / 切断要求時の動作］が［常に拒否］になっている。 ➔［オプション設定］［接続設定］［プロジェクターからの接続 / 切断要求時の動作］を［確認ダイアログを表示］もしくは、［常に許可］に設定してください。
プロジェクターはすでに接続されています。	○		・接続・切断しようとしているプロジェクターがすでにほかの PC と接続している。 ➔ほかの PC と切断してから再度接続を行ってください。
接続しようとしている PC はすでに５台接続されています。	○		・接続しようとしている PC がすでに５台のプロジェクターと接続している。 ➔接続しようとしている PC の接続台数を４台以下にしてから再度接続を行ってください。（１台の PC で同時に接続できるプロジェクターは最大５台です。）
プロジェクターがスタンバイ状態です。	○		・接続しようとしているプロジェクターがスタンバイになっている。 ➔プロジェクターの電源を入にしてから再度接続を行ってください。

メッセージ	PC	PJ	原因と対処
プロジェクターから応答がありません。	○		・ファイアウォールにより Air Shot Version 2 の通信がブロックされている。 ➔お使いのファイアウォールの設定を変更し Air Shot Version 2 の通信がブロックされないようにしてください。 ・電波状態が極端に悪い。 ➔プロジェクターとコンピューターを近づけたり、障害物を避けて見通しをよくしてください。 ・プロジェクターの電源コードが抜けた。 ・プロジェクターのワイヤレスカードが抜けた。 ➔プロジェクターの状態を確認してください。 ・USB ワイヤレス LAN モジュールを使用してプロジェクターと接続しているとき USB ワイヤレス LAN モジュールをはずした。 ➔Windowsを再起動してAir Shot Version 2 を起動し接続を行ってください。
PC デスクトップの解像度切換えができません。	○		・プロジェクターの LCD パネル解像度と異なる画面解像度に設定された PC において、［オプション設定］［接続設定］［PC のデスクトップをプロジェクターの解像度に合わせる］にチェックされている状態で接続を行った時、PC の画面解像度の切換えが正常に行われなかった。 ➔このメッセージが接続を開始する度に表示される場合は、［PC のデスクトップをプロジェクターの解像度に合わせる］のチェックをはずしてお使いください。
ネットワークアドレスが重複した LAN モジュールが存在しています。	○		・Air Shot で使用する LAN モジュールに割り当てられている IP アドレスと同じサブネットマスクをもつ IP アドレスが別の LAN モジュールに割り当てられています。 ➔Air Shot Version 2で使用しているLANモジュールと PC に搭載されているほかの LAN モジュールに設定されている IP アドレス設定を確認し、ネットワークアドレスが重複しないように設定を変更してください。

メッセージ	PC	PJ	原因と対処
接続中に USB ワイヤレス LAN モジュールがはずされました	○		・プロジェクターと接続中に USB ワイヤレス LAN モジュールがはずされた。 ➔接続中にUSBワイヤレスLANモジュールをPCからはずしてしまうと、次回正常に接続ができなくなる可能性があります。USB ワイヤレスモジュールをはずす場合は切断してから行ってください。
システムエラーが発生しました。 Air Shot Version 2 を終了します。	○		・使用している PC のリソース不足などにより Air Shot Version 2 が正常に動作できない。 ➔Windows を再起動し、Air Shot Version 2 を立ち上げてください。
同一の IP アドレスが存在します。	○	○	・設定した IP アドレスがすでに使用されています。 ➔利用可能な IP アドレスを設定してください。
ワイヤレス LAN カードが装着されていません。		○	・ワイヤレス LAN カードがプロジェクターのスロットに正しく取り付けられていない。 ➔カードの向きが正しいか確認し、カードを奥までしっかり差し込んでください。
非対応のカードが装着されています。		○	・付属のワイヤレス LAN カードを使用していない。 ➔付属のワイヤレス LAN カードを使用してください。
設定が有効ではありません。		○	・設定メニュー画面で行った設定が有効でない。 ➔表示された設定項目を確認してください
ネットワークを開始できません。		○	・ネットワーク設定ができなかった。 ➔設定メニューで設定内容を確認してください。

用語集

Air Shot Version 2
コンピューターとプロジェクターをワイヤレスで接続する機能です。

DHCP
ネットワークに接続する機器に自動的にIPアドレスを割り当てる機能です。個々の機器に固定のIPアドレスを割り当てるのではなく、DHCPサーバーが必要に応じて自動的に各機器にIPアドレスを割り当てます。

EPA（Extensible Authentication Protocol）
IEEE802.1xの認証プロトコルとして採用されている方式です。認証方式には様々な種類がありますが、本機はPEAP（MS-CHAP v2）に対応しています。

IEEE 802.1x 認証
認証と動的な暗号キーの生成および配送を行う方式です。IEEE802.1x認証にはEAPと呼ばれる認証プロトコルとRADIUSサーバーと呼ばれる外部サーバーが利用されます。

IPアドレス
TCP/IPを使ったネットワークで、ネットワークに接続している個々の機器を識別するために使用するアドレスです。

LAN（Local Area Network）
会社内や家庭内など、限られた範囲の中で使われるネットワークのことです。

MACアドレス
ネットワーク対応機器の製造時に、機器1台ごとに割り当てられる固有のアドレスです。
同じMACアドレスを持つ機器は2台存在せず、また、ユーザーがMACアドレスを変更することもできません。

Projector Station for Air Shot Version 2
Air Shot Version 2を使用するときに必要なアプリケーションソフトウェアです。お使いになるコンピューターにインストールします。

RADIUSサーバー（Remote Authentication Dial-In User Service Server）
ネットワークに接続されたユーザーや機器に対し、ユーザー認証を提供するサーバーです。WPAの認証サーバーを必要とする方式で接続する場合は、通常RADIUSサーバー等の環境が必要になります。

SSID（Service Set Identifier）
無線LANで構成されるネットワークで相手と接続するための識別データです。SSIDが一致している機器どうしで無線通信ができます。

TCP/IP
ネットワークを構成するときに使われるプロトコル（通信規約）のひとつです。
インターネットの標準プロトコルがTCP/IPであることから、LANなどのプロトコルとしても多く採用されています。

TKIP（Temporary Key Integrity Protocol）

WEP の後継にあたる暗号化の規格です。TKIP では一定のデータ量または時間毎に自動的に暗号化キーを生成し、暗号化を行います。動的に暗号化キーを変化させるため、暗号化キーの解読がより困難となり、セキュリティーが強化されます。

WEP（Wired Equivalent Privacy）

データを暗号化して通信するためのセキュリティ方法です。
接続するコンピューターと同じキーを登録するとデータの通信を行うことができます。

WPA（Wi-Fi Protected Access）

無線 LAN 用のセキュリティ規格です。TKIP による強力な暗号化と IEEE802.1x による認証をサポートします。IEEE802.1x は認証のためのサーバーを必要としますが、WPA では認証サーバーを必要とする方式と、認証サーバーを利用しない方法があります。

WPA-PSK

WPA にて認証サーバーを利用しない方式です。PSK と呼ばれる共有キーによって無線 LAN 端末を認証します。
接続するコンピューターと同じキーを登録するとデータの通信を行うことができます。

アクセスポイントモード

無線 LAN で構成されるネットワークでアクセスポイントを使って通信する方式です。

アドホック（ピアトゥピア）モード

無線 LAN で構成されるネットワークでアクセスポイントを使わずに通信する方式です。

サブネットマスク

IP アドレスからサブネットのアドレスを特定するためのビット列のことです。

シンプルモード

ネットワークやワイヤレスの設定が不要な簡単接続モードです。

チャンネル

ほかの無線 LAN の干渉を避けるため、無線 LAN ネットワークごとに設定することができます。
使用する国 / 地域によって使えないチャンネルがあります。

デフォルトゲートウェイ

サブネットを超えて通信するためのサーバー（ルータ）のことです。

製品ご相談窓口のご案内

【プロジェクターの技術相談窓口】

テクニカルインフォメーションセンター

電話番号：0586-25-6170
（電話のおかけ間違いにご注意下さい）
受付時間：月～金曜日　午前９時～午後８時
土日、祝日　午前９時～午後５時

製品の品質には万全を期しておりますが、万一本機のご使用中に、正常に動作しないなどの不具合が生じた場合は、上記の『テクニカルインフォメーションセンター』までご連絡ください。修理に関する御案内をさせていただきます。

http://www.sony.co.jp/

Sony Corporation　ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35